



NPO法人こどもとむしの会

平成27年度（2015年度）事業報告書

## A 子どもと虫に関連する普及啓発事業

### A-1 いどうこんちゅうかん

昆虫館や博物館に出かけるチャンスのない子どもたちのもとにも、「ほんものたいけん」を届けます。

平成27年度は20ヶ所で開催しました。神戸市児童館派遣事業は23年度から5年目です。今年の派遣事業の参加者は、6館で361人（小学生278人・幼児23人・大人16人・児童館スタッフ44人）でした。（吉岡）

#### 平成27年度（2015年度）いどうこんちゅうかんの内容

日時	会場	来場者数	スタッフ氏名	備考
5月2日	福島県田村市役所	約100人	阪上・徳平・吉岡	こども☆ひかり福島キャラバン「田村っ子ゆめまつり」に参加。
5月6日	神戸大学瀧川記念会館	約150人 (こども60人)	中瀬・前田慈・前田慧・阪上・徳平・中谷・菅澤・坂本・半井・吉岡	第3回「ムシのお話5つ星レストラン～ムシのプロが子どもたちに熱く語る～」において、生き虫展示とカヤを担当。大学構内でカヤ虫を採集しながらカヤと生き虫を展示した。
5月31日	おおやアート村BIG LABO（養父市）	159人（大人84人、こども75人）	近藤・阪上・徳平・宇野・吉岡	おおやアート村BIG LABOの『こん虫まつり2015』に参加。アート村での開催なので、今回は「おえかき」も実施。48匹の虫の絵もできあがる
6月14日	仙台市 縄文の森広場（宮城県）	体験者数670人	清水哲哉・中野・川崎・吉岡	「こども☆ひかりフェスティバル in 仙台2015」に参加。竪穴式住居の横にカヤが並ぶステキな光景。仙台の親子がたくさん楽しんでくれる。
8月9日	しあわせの村（温泉健康センター玄関ホール）	約200人	近藤・中瀬・徳平・宇野・中谷・吉岡	昨年同様「温泉健康センター」内での4回目の開催。異様な暑さの中、たくさん子どもたちがファミリーで楽しむ。
8月17日（午前）	神戸市立愛垂児童館（垂水区）	小学生25人	近藤・阪上・徳平・宇野・吉岡	8月17日・19日・20日の3日間は神戸市児童館派遣事業。抽選で当たった6館に行く。小雨の中だが、子どもたちはカブトやバッタやセミやイモリの展示に大喜び。
8月17日（午後）	井吹の丘コーナー（西区）	小学生102人	近藤・阪上・徳平・宇野・吉岡	午後は新設校のびかびかのコーナーへ。井吹北コーナーの27人も参加。会場が広がったので大人数でもスムーズに進行。（神戸市児童館派遣事業）
8月18日（午後）	神戸市立桃山台児童館（垂水区）	小学生74人・幼児4人・大人4人	内藤・阪上・徳平・坂本・吉岡	直接依頼による6年目の開催。内藤先生の恒例「夏にみられる身近な虫たち」というお話付きスペシャルメニュー。

日時	会場	来場者数	スタッフ氏名	備考
8月19日 (午前)	神戸市立東垂水 児童館(垂水 区)	小学生70人・幼 児16人・大人 11人	八木・阪上・徳 平・福田・川 崎・牧田・吉岡	大雨の中、近隣の福田児童館からも大勢が参加。派遣事業の中でも「いどうこんちゅうかん」は大人気。高倍率の抽選なので、近隣の児童館が同時参加するケースが増えている。3D写真も好評。(神戸市児童館派遣事業)
8月19日 (午後)	神戸市立塩屋北 コーナー(垂水 区)	小学生28人	八木・阪上・徳 平・福田・川 崎・牧田・吉岡	小学校の教室を改造した小さな部屋なのでパズルのように配置を工夫。少人数なのでじっくり楽しんでくれた。翌日にみんなで描いた絵日記風の「いどうこんちゅうかんの感想文」25人分が後、後日届く。色とりどりの虫たち、カヤのようすや大喜びの笑顔がいっぱい描かれている。こんなうれしいプレゼントがあるからやめられない。(神戸市児童館派遣事業)
8月20日 がつ(午 前)	神戸市立花山コ ーナー(北区)	小学生31人	大谷・河村・阪 上・徳平・川 崎・牧田・吉岡	今年の「むしむし小話」は大学生の徳平くんの『蛹になる虫、ならない虫』。昆虫の変態についての手描きのすばらしい絵と昆虫タペストリも使って子どもたちにわかりやすく説明。子どもたちに人気のコーナーになっている。(神戸市児童館派遣事業)
8月20日 (午後)	神戸市桜ノ宮児 童館(北区)	小学生22人・幼 児7人・大人5人	大谷・河村・阪 上・徳平・川 崎・牧田・吉岡	カヤ・生き虫・3D写真・ぬりえの各コーナーを子どもたちは上手に楽しむ。最初はこわくてさわれなかった子どもでも、30分後には手の上に虫やイモリをのせている。幼児もカブトムシを怖がることもなくさわっている。(神戸市児童館派遣事業)
9月12日	国立淡路青少年 交流の家(南あ わじ市)	53人(子ども 30人/18家族)	阪上・池田・徳 平・吉岡	親子チャレンジ「あわじで虫とり名人になってテントにも泊まっちゃおう！」という企画の中の『むしとりペナントレース～むしとりに挑戦しよう～』を担当。吹上浜で2チームに分かれて採集。27種149匹を採った。採集後は研修室でおえかきもする。
9月27日	いわてこどもの 森(岩手県二戸 郡)	体験者80人	徳平・宇野・吉 岡	「こども☆ひかり ミニフェスティバル 2015 in いわて子どもの森」に参加。県北部の山中にある宿泊付き大型児童館が会場。たくさんの博物館・美術館のみなさんと一緒にフェスを展開。
10月20日	南相馬市博物館 (福島県)	体験者数200人 (来場者総数 1528人)	清水哲哉・阪 上・福田・吉岡	「こども☆ひかり ミニフェスティバル 2015 in みなみそうま」に参加。ぴかぴかのお天気の中、屋外での「いどうこんちゅうかん」。ここではまだ『放射線』が親の話題となっていた。そんな中、子どもたちは元気に虫と遊んでいた。
10月18日	ひょうご環境体 験館(佐用町)	子ども31人・幼 児8 人・大人 24人	八木・中瀬・阪 上・徳平・牧 田・吉岡	館内の「エコハウス」にて昨年に引き続き3年目の実施。虫好きの子どもたちや家族が申し込み形式で集まる。リピーターも多い。
11月2日	神戸市立神出見 児童館(西区)	小学生(1~6年 生)12人	近藤・吉岡	近藤さんの「むしのおえかき」の「いどう」版を小学校の音楽会の代休(月曜日)に実施。大きな画用紙にたくさんのカラフルな虫52作品ができあがる。子どもたちも得意げでうれしそうだった。

日時	会場	来場者数	スタッフ氏名	備考
11月9日	神戸市立桃山台児童館（垂水区）	小学生（1～3年生）25人	近藤・吉岡	「むしのおえかき」も3年目。「大人は横から何も言わず、子どもにのびのびと自由に描かす」。子どもたちの集中した観察により今年もアートとしても素晴らしい153作品ができあがる。
11月16日	神戸市立長坂コーナー（西区）	小学生（1～4年生）31人	近藤・吉岡	導入の近藤さんの「むしの紙芝居～だれのかお？」で子どもたちはグッと引き込まれている。みんなで描いた125匹の虫が壁に並ぶと壮観。子どもたちからも「おおお～～」と声上がる。
4月30日	神戸大学瀧川記念会館	約125人（うち、こども27人）	中瀬・前田慈・前田慧・小林・阪上・徳平・宇野・中野・菅澤・吉岡	第4回「ムシのお話5つ星レストラン」において、生き虫展示とカヤを担当。大学構内で採集しながらカヤと生き虫を展示した。



いどうこんちゅうかんのスナップ

## A-2 むしむしたいけん

兵庫県立人と自然の博物館主催のオープンセミナー「むしむしたいけん」を、共催した。

2015年8月8日～15日

（吉岡）

## B 地域の自然環境とまちづくりに関連する調査研究事業

### B-1 神戸市北区のチョウ類調査

新名神高速道路計画路線が神戸市北区道場町を通過するにあたり、工事施工前・工事中・工事完了後にかけてギフチョウの生息状況及びチョウ類相の調査を行い、同工事による環境の改変が及ぼす影響を評価するとともに、必要であれば保全対策等についての提案を行う。調査は平成22年4月から開始され、平成27年度は5年目となる。

(吉田・近藤)

調査月日	調査内容	調査方法
4月9日 4月16日	ギフチョウ 成虫確認調査	任意採集法 マーキング法
5月11日 5月14日	ギフチョウ 卵・幼虫確認調査	カンアオイ群落における探索
4月23日 5月21日 6月22日 7月15日 9月15日	チョウ類群集の モニタリング調査	ルートセンサス法 定点観察法



### B-2 昆虫雑誌「きべりはむし」の編集発行

2015年度に発行した『きべりはむし』の概要

#### きべりはむし 第38巻 第1号

- ・2015年12月25日発行
- ・頁数32、報文5編、短報6編

#### きべりはむし 第38巻 第2号

- ・2016年3月25日発行
- ・頁数52、報文8編、短報3編

(中峰)

## C 昆虫館等の運営支援事業

### C-1 佐用町昆虫館の管理運営

2015年度の入館者は、4579人と前年より857人多くなった。4、5、6月とやや低調だったが、9、10月が好天に恵まれ、リピーターを中心に多くの来館があった。さらに11月に、佐用町高齢クラブの船越山ハイキングで、見学に加え、バックアップ施設として使っていただいたことから183人が来館されるなどし、2013、2014年と続いた3千人台から、4千人台に大きくカムバックした。スタッフの数も延べ269人で、一日当たり3.2人と多くなった。お盆の臨時開館も功を奏し、加えて平日の臨時開館も好評で、2015年は10回、415人の利用があった。2009年の開館から、7年目。その成果の蓄積に光が当たり始めたのと、現場で活躍する新入会員が増えたことが大きい。

2015年11月3日に井植文化賞を、地域貢献部門で受賞。佐用町をはじめ、県内各地や東日本大震災の被災地、岩手、宮城、福島県などでの活躍が選定の決定打となった。選考委員の満場一致で、20近い他の候補をおいて選ばれた。副賞の100万円は全額、佐用町に託した。昆虫館は2009年に館自体が被災し、「災害」そして「復興」というプロセスが、活動する仲間達の心の底にあり、連帯を生んでいる。今後も出発点を忘れずに、館を守り発展させていく。

事務局長の竹田真木生氏が、昆虫生理学の研究で県の科学賞を受賞。世界的な研究者がメンバーにいることは、本当に心強い。

幼稚園児の頃から館に通い、昆虫少年としてその才能を開花させた大阪の松下宗嗣君は、平成27年度の第30回〈WE LOVE トンボ〉絵画コンクールで、最高賞の環境大臣賞を受賞した。昆虫館で採集したオニヤンマを描いた作品だった [http://www.tombow.gr.jp/eco\\_project/kaiga/2015/02kankyo/index.html](http://www.tombow.gr.jp/eco_project/kaiga/2015/02kankyo/index.html)

他にも昆虫をテーマにした自由研究での受賞があり、東京での表彰式が2つ重なったため、片方にしか出られなかったというエピソード付きだ。以前に「佐用町昆虫館大賞」を贈り、見守ってきた成果で、当時、お母様から「佐用町昆虫館で育てていただいた夏でした」という、手紙をいただいている。

こどもとむしの会のメンバーはこれまで、主に近畿地方の昆虫の研究者やアマチュアから募っていたが、2015年から佐用町昆虫館に実際に来て下さる方、つまり来館者の中から、適した方を見つけ出し、協力をお願いする形に力を入れた。その結果、姫路で自宅近くの山の昆虫相を調査しているご家族、高校教師の傍ら岡山で長年、フィールド調査されてきたご夫婦など、「館での、こども達への接し方が素晴らしい」と入会して下さり、即戦力として、家族ぐるみの奮闘が頼もしい。この春の開館準備でも、新入会員の活躍が目覚ましく、今後の発展の方向性が見えた一年であった。

(三木)

#### 佐用町昆虫館の利用者数等

月	開館利用		閉館時利用		講座等		総計	備考
	開館日数	記帳者数	日数	人数	件数	人数		
4	8	149					149	むし開き
5	12	489			1	6	495	こども昆虫道場
6	8	366	1	31	1	13	410	こども昆虫道場 佐用町立、佐用町立三河保育園
7	10	700	4	119			819	中安保育園、宍粟市河東小学校、大阪こぼと保育園、大阪さくらんぼ保育園、こども昆虫道場、ひまわり祭り出張昆虫館

月	開館利用		閉館時利用		講座等		総計	備考
	開館日数	記帳者数	日数	人数	件数	人数		
8	12	1380			1	118	1498	神戸・光の丘幼稚園、走査電子顕微鏡1回、13～15日（水、木、金）お盆の臨時開館、台風による臨時休館（9、10日）
9	11	608	1	34	1	5	647	こども昆虫道場、佐用三日月小学校
10	11	335	2	38	1	3	376	佐用町立南光小学校、佐用町立利神小学校、こども昆虫道場,むし納め
11			2	193			193	佐用町高年クラブ
計	72	4027	10	415	5	145	4587	



## C-2 第6期佐用町昆虫館こども昆虫道場

こども昆虫道場は「ほんものたいけん」をスローガンに、実際に昆虫の採集をして観察する講座です。

平成27年で第6期目になります。5月から10月の月1回（8月はお休み）、5回セットの講座を開催しました。参加費は¥1500です。参加者の反応は良好でした。

（金子）

実施日時	場所	参加者数	スタッフ数
5月17日	佐用町昆虫館	6	5
6月14日	佐用町昆虫館	13	6
7月5日	佐用町昆虫館	13	5
9月27日	佐用町昆虫館	14	6
10月18日	佐用町昆虫館	10	6

スタッフ数は講師含む

## D 管理運営

### D-1 むしのお話五つ星レストラン

#### 第3回むしのお話し五つ星レストラン

会員の研修を目的とした講演会を平成24年に開催し今回で3回目になります。

内容は講演会と昆虫体験プログラム（標本展示・工作・生き虫体験）を、2015年5月6日、神戸大学瀧川記念学术交流会館において開催しました。

（金子）

#### 第4回むしのお話し五つ星レストラン

日程の関係で来期行われる予定のものを今期に前倒しにして第4回目を行いました。

内容は講演会と昆虫体験プログラムで、2016年4月30日、神戸大学瀧川記念学术交流会館で開催しました。

（金子）



### D-2 管理運営

- ・正会員44名、賛助会員1団体、家族会員3名（485,00円）
- ・寄付金 230,800円（日当寄付等）
- ・理事会、総会、役員会を開催した。